

教材・支援機器活用実践事例

【学習効果を高めるICTを活用した指導】

子どもについて	学校・学年・学級	中学校 1～3年 特別支援学級	
	対象の障がい	知的障がい	
	授業形態	一斉指導	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<p>○文字よりも静止画、静止画よりも動画で提示した方が、生徒は集中して内容を理解しようとする。</p> <p>○試行錯誤するなど、考えて行動をするようことが苦手な生徒が多い。</p>	
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	<p style="text-align: center;">デジタルカメラ TJ&Ir コモンアダプター ノートパソコン 大型テレビ</p>	<p>【画像】 <全体図></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビ ・ノートパソコン ・TJ&Ir コモンアダプター ・デジタルカメラ  <p style="text-align: right;"><拡大図> デジタルカメラをアダプターにかざすだけで画像転送ができる。</p> 
	活用のねらい	<p>○デジタルカメラで撮った静止画や動画をパソコン等に簡単に転送できる利点を生かし、以下の場面で活用できる。</p> <p>○課題把握させるための映像を作成し提示するために使用する。</p> <p>○一人一人の課題解決の結果を撮影し、大型テレビに提示をして説明させたり、課題解決の様子を共有させたりする。</p> <p>○課題解決の結果をクラウド上に保存し、保護者にも伝達する機会を作る。</p>	
授業における支援 ・教材の配慮事項	<p>○本学級の生徒がタブレット端末で撮影をすると、どうしても手ぶれをおこしてしまい、撮影に時間がかかってしまった。上記の ICT 機器を使用すると、デジタルカメラで撮影することにより、比較的上手に撮影をすることができた。</p> <p>○慣れるまでは三脚を用いたり、補助をしてあげたりしたが、失敗しても撮り直しが簡単なため、可能な限り待つ時間をとるようにした。</p>		
子どもの変容や評価	<p>○課題把握の時間に静止画や動画を使用した場合、耳で聞くだけでなく顔を上げてテレビの方に身体を向けて話を聞くようになった。</p> <p>○課題解決の結果を撮影し提示することで、恥ずかしがりながらも自分の解決結果を見るようになり、自分の結果と他者の解決結果とを見比べ、違いをつぶやくようになった。</p> <p>○授業の様子を動画等で保護者へ伝達できる機会があり、授業参観等の特別な場でもなくとも普段の生徒の様子を保護者に動画で伝えることができた。</p>		